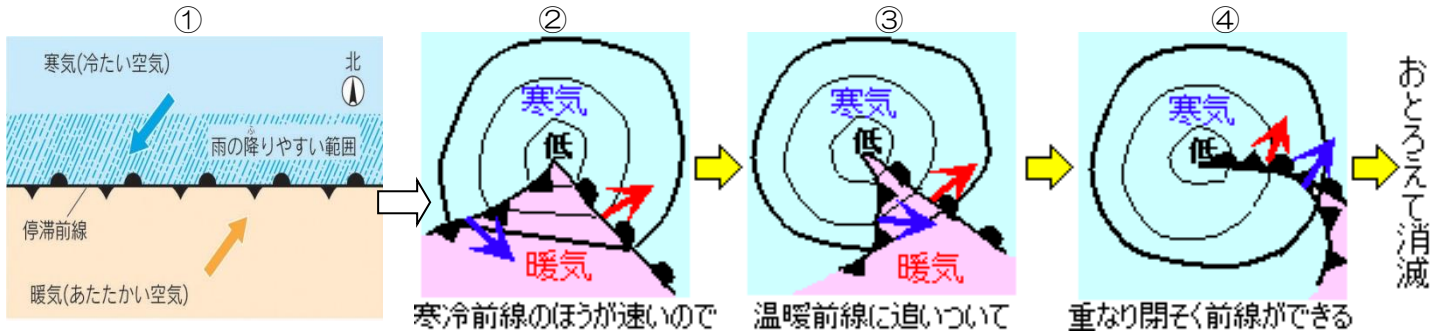
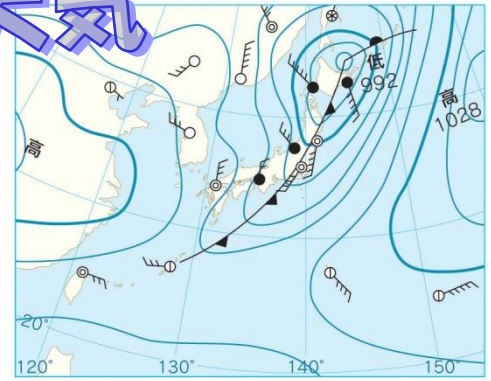


低気圧とその天気

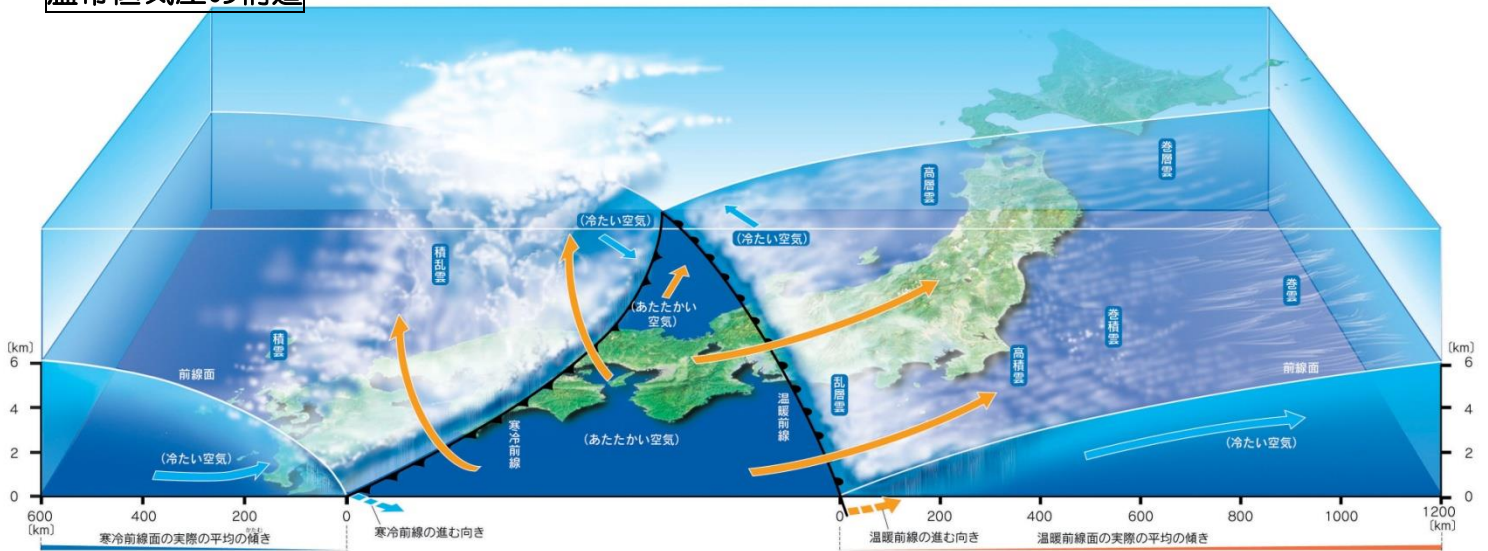
低気圧の種類

ふつう「低気圧」というと（ ）のことです。温帯地方では北に（ ）南に（ ）が存在しているものなので、気温のちがう気団が接する機会が多いです。右図→寒気と暖気がぶつかりあうと、（ ）が形成されます。前線の接しているところを中心に、空気のうずができて低気圧となります。今日はそのできかたを見てみましょう。



- ① 大気の大循環のため、冷たい空気は反時計回りに赤道へ、あたたかい空気は反時計回りに極へ向かい、低気圧の南に扇形の暖域を形づくる。
- ② この流れのために前線はかたむき、低気圧の中心から東側には温暖前線が、西側には寒冷前線ができる。
- ③ 冷たい空気はあたたかい空気よりはやく進むので、暖域は徐々にせばまる。
- ④ 温暖前線と寒冷前線が重なった部分に閉塞（へいそく）前線ができ、次第に前線は弱まる。

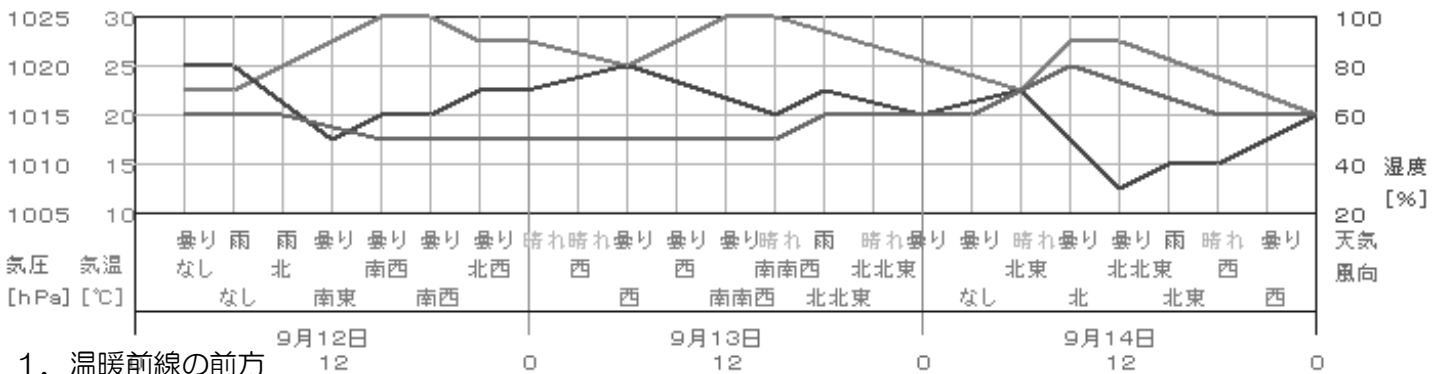
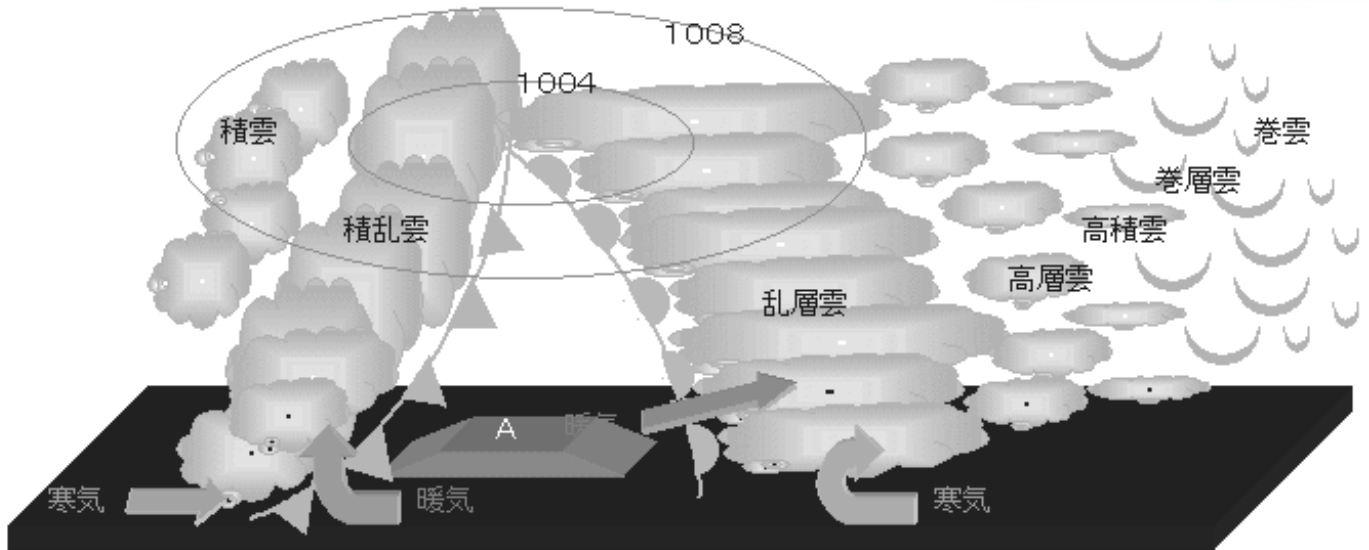
温帯低気圧の構造



- 低気圧の影響を及ぼす範囲は2000～3000 kmになる。
- 低気圧を中心にして、（ ）に風がふきこむ。
- 低気圧の中心から、南西方向に（ ）前線、南東方向に（ ）前線）がのびる。
- 寒冷前線と温暖前線にはさまれたところには（ ）が、それ以外のところは（ ）が分布する。
- 寒冷前線には、せまい範囲で積雲、（ ）が発生する。雨の降る範囲は50～70 kmと狭い。
- 温暖前線には、広い範囲で層雲状の雲が発生し、（ ）が雨を降らせる。
- 温暖前線の通過後は（ ）寄りの風、寒冷前線の通過後は（ ）寄りの風）が吹く。

低気圧は（ から ）へ移動する

日本上空にふく西風（ ）に流されているからです。
 天気は西から変わります。温帯低気圧の移動と天気の移りかわりを見ましょう。



1. 温暖前線の前方
空に巻雲、巻層雲、巻積雲、高積雲が現れ、天気が晴れから曇り始める。
2. 温暖前線の接近
雲がだんだん低く厚くなり乱層雲でおおわれ、やがて雨が降り始める。
3. 温暖前線の通過
数時間の弱い雨が降り続き、西の空が明るくなる。
4. 温暖前線の通過後
雨があがるもののすっきりと天気は回復しない。暖气におおわれるため、気温が上がり南寄りの風が吹く。
5. 寒冷前線の通過
西の方に発達した積乱雲が近づくとすぐに激しい雨が降り始め、1時間くらい続く。
6. 寒冷前線の通過後
雨があがると天気は急速に回復し、晴れになる。寒気におおわれるため、気温が下がり、北寄りの風が吹く。